

試験成績書

依頼者 住 所 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

会社名又は団体名 株式会社豊運

責任者名 代表取締役 森由雄

受託試験名称 JIS A 6916 仕上塗材用下地調整塗材の品質試験
(セメント系下地調整厚塗材1種:ピルモルDX-20)

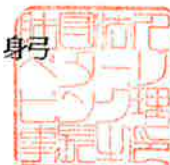
平成 8年12月24日付契約した依頼試験について、財団法人ベターリビング
筑波建築試験センターにおいて試験を実施した結果は次のとおりである。

平成 9 年 2 月 24 日

東京都千代田区二番町4番地5
相互二番町ビルディング3階

財団法人 ベターリビング

理事長 北 島 照 身



1. 目的

株式会社豊運より試験依頼のあった J I S A 6 9 1 6 仕上塗材用下地調整塗材（セメント系下地調整厚塗材 1 種：ビルモル D X - 2 0 ）の品質試験を行う。

2. 試験内容

J I S A 6 9 1 6 「仕上塗材用下地調整塗材」のセメント系下地調整厚塗材 1 種に定められた試験方法に準拠して、下記の試験項目を行う。

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| (1) 単位容積質量 | (7) 付着強さ | (イ) 標準養生 |
| (2) 軟度変化 | | (ロ) 低温養生 |
| (3) 耐ひび割れ性 | (8) 吸水量 | |
| (4) 耐衝撃性 | (9) 透水量 | |
| (5) 曲げ強さ | (1 0) 長さ変化 | |
| (6) 圧縮強さ | (1 1) 耐久性 | |

3. 試料

株式会社豊運より提出された仕上塗材用下地調整塗材の商品名・種類及び使用方法等を表-1に示す。（依頼者提出資料による）

表-1 商品名・種類及び使用方法等

商 品 名		ビルモル D X - 2 0
種 類		セメント系下地調整厚塗材 1 種(下地調整塗材 C M - 1)
製 造 会 社 名		株式会社豊運
正味質量	粉 体	2 5 k g / 袋
	混 和 液	1 k g / 袋 { K S ポリマー # 4 5 (シーラー N) }
使用方法	調 合	粉体 : 混和液 : 水 = 2 5 k g : 1 k g : 8 l
	標 準 加 水 量	8 l / 2 5 k g (粉体)
	標 準 使 用 量	(粉体) 3 . 6 k g / m ² [塗り厚 3 m m]
	標 準 塗 り 厚	3 m m
	可 使 時 間	1 時 間

4. 調合及び塗り厚

試験で実施した調合及び塗り厚を表-2に示す。

表-2 調合及び塗り厚

調 合 (重量比)	粉 体 : 混 和 液 : 水 = 1 5 0 0 : 6 0 : 4 8 0
塗 り 厚	3 m m

5. 試験結果

(1) 単位容積質量

表-3 試験結果

番号	単位容積質量 (kg/l)
1	1.65
2	1.65
平均	1.65

(2) 軟度変化

表-4 試験結果

番号	フロー値 (mm)		軟度変化 (%)
	練混ぜ直後	60分間静置後	
1	149	136	8.7
2	153	138	9.8
3	151	138	8.6
平均	—		9.0

(3) 耐ひび割れ性及び耐衝撃性

表-5 試験結果

番号	耐ひび割れ性	耐衝撃性
1	ひび割れの発生は認められない	ひび割れ及びはがれは認められない
2	ひび割れの発生は認められない	ひび割れ及びはがれは認められない
3	ひび割れの発生は認められない	ひび割れ及びはがれは認められない

(4) 曲げ強さ及び圧縮強さ

表-6 試験結果

番号	曲げ強さ (N/mm ²)	圧縮強さ (N/mm ²)	
		縦向き	横向き
1	7.0	29.5	20.8
2	7.3	22.0	22.1
3	8.1	22.8	21.3
平均	7.5	23.1	

(5) 付着強さ

表-7 試験結果

番 号	標 準 養 生 時		低 温 養 生 時	
	付着強さ(N/mm ²)	破 壊 状 況	付着強さ(N/mm ²)	破 壊 状 況
1	1.9	G	0.6	M
2	1.5	G	1.5	M
3	1.9	G	0.7	M
4	1.8	G	0.6	M
5	1.6	G	0.7	M
平 均	1.7	—	0.6	—

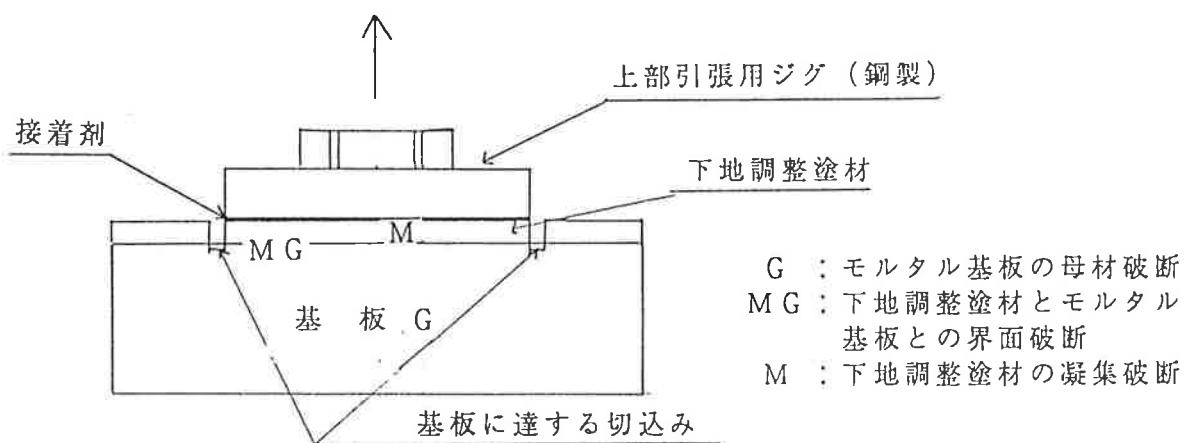


図-1 破壊状況

(6) 吸水量

表-8 試験結果

番号	吸水前の質量 (g)	吸水後の質量 (g)	吸水量 (g)
1	236.08	237.30	1.2
2	232.11	233.33	1.2
3	234.80	236.64	1.8
平均	—	—	1.4

(7) 透水量

表-9 試験結果

番号	透水量 (ml/h)
1	0.2
2	0.1
3	0.2
平均	0.2

(8) 長さ変化

表-10 試験結果

番号	長さ変化率 (%)	質量減少率 (%)
1	0.138	13.0
2	0.133	12.8
3	0.137	12.6
平均	0.136	12.8

(9) 耐久性

表-11 試験結果

番号	温冷繰返し10サイクルの後の表面状態	付着強さ (N/mm ²)	破壊状況
1	割れ、膨れ及びはがれは認められない	1.6	M
2	割れ、膨れ及びはがれは認められない	1.6	M
3	割れ、膨れ及びはがれは認められない	1.2	M
4	割れ、膨れ及びはがれは認められない	1.5	M
5	割れ、膨れ及びはがれは認められない	1.6	M
平均	—	1.5	—

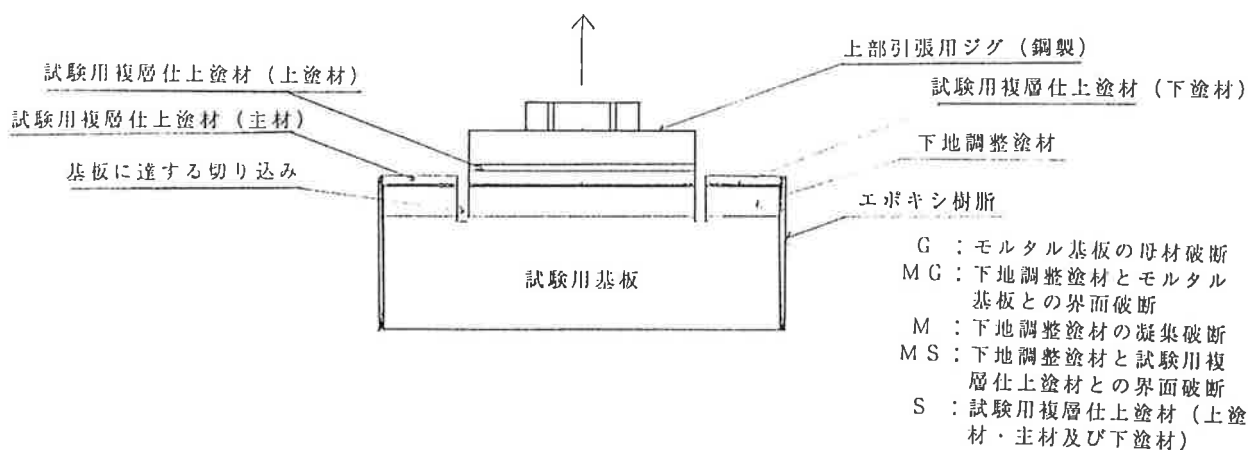


図-2 破壊状況

6. 試験結果一覧表

表-12 試験結果一覧表

試験項目		試験結果	品質基準 (JIS A 6916) [セメント系下地調整厚塗材1種]
単位容積質量 (kg/ℓ)		1.65	1.8 未満
軟度変化 (%)		9.0	±20 以下
耐ひび割れ性		ひび割れの発生は認められない	ひび割れがないこと
耐衝撃性		ひび割れ及びはがれは認められない	ひび割れ及びはがれの無いこと
曲げ強さ (N/mm ²){kgf/cm ² }		7.5 { 76 }	3.0 { 30.6 } 以上
圧縮強さ (N/mm ²){kgf/cm ² }		23.1 { 236 }	5.0 { 51.0 } 以上
付着強さ (N/mm ²) {kgf/cm ² }	標準養生時	1.7 { 17 }	0.7 { 7.1 } 以上
	低温養生時	0.6 { 6 }	0.5 { 5.1 } 以上
吸水量 (g)		1.4	2 以下
透水量 (ml/h)		0.2	1 以下
長さ変化 (%)		0.136	0.15 以下
耐久性 (N/mm ²) {kgf/cm ² }	表面状態	割れ、膨れ及びはがれは認められない	割れ、膨れ及びはがれがなく、 付着強さが0.7 { 7.1 } 以上であること
	付着強さ	1.5 { 15 }	

7. 試験担当者

(財)ベターリビング 筑波試験センター
所 長 上村 克郎

副 所 長 楡木 堯

参 事 役 羽木 宏

第一試験室専門役 工藤 吉紀

試験実施者 大串 浩治

8. 試験期間

平成 8年12月25日より
平成 9年 2月12日まで

9. 試験実施場所

(財)ベターリビング 筑波試験センター